



乳辱メインの
エロトラップ
ダンジョン3



私達の靴は
あの場には
無かったか…

畏情報によって
エロトラップダンジョンに
迷い込んでしまった冒険者の
「チサト」と「ミケ」

ホラ平等に
じゃんけんで決めたんだから
覚悟キメてやりなさい！

まずは乳首の感度を
おかしくされ
異物が入る位の穴を
乳首に開けられても
快感を感じてしま
体にされてしま

今度はミケが
やってよね！

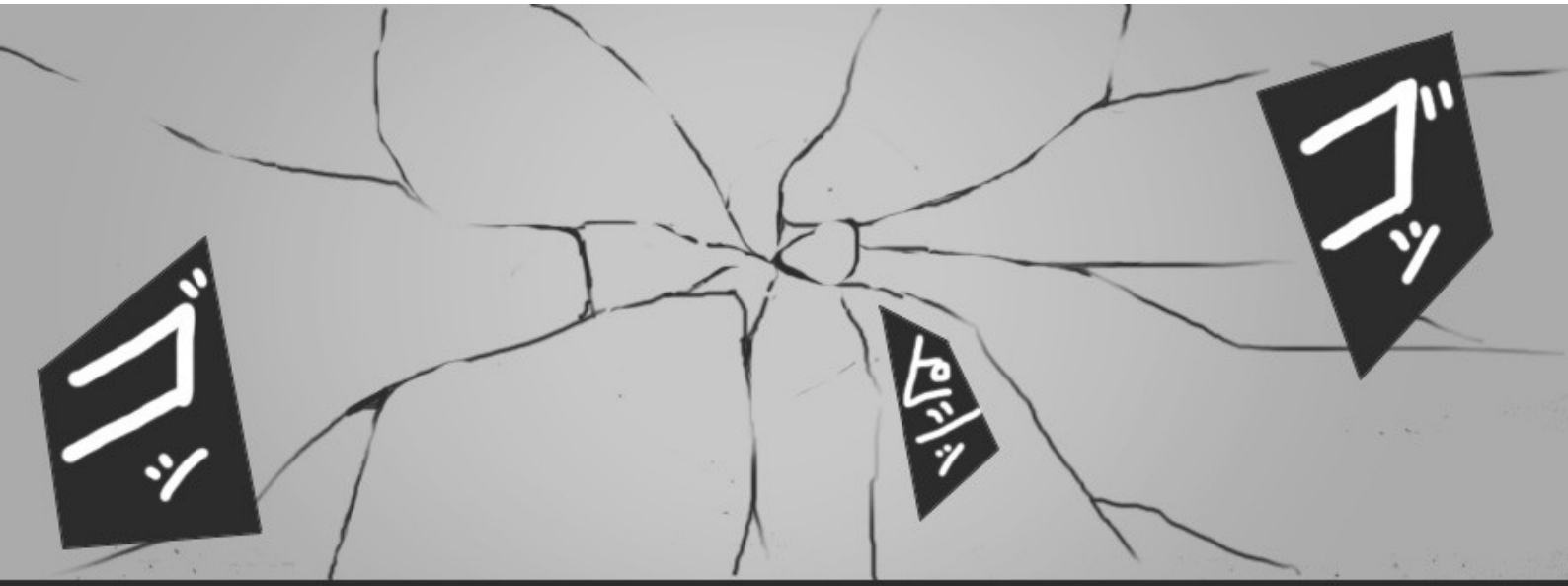


その後
スライムの畏によって
快感を感じると母乳が
吹き出るように
造り替えられてしまった



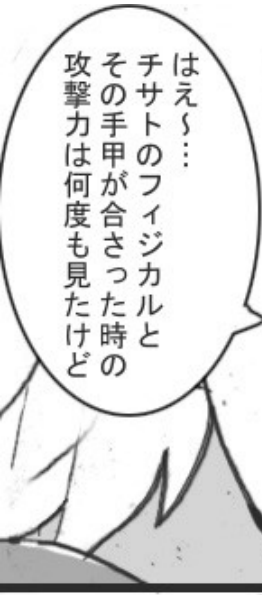
なんとかその場は
切り抜けたものの
果たして彼女達は
このダンジョンから
脱出できるのか…

ドリュウウ

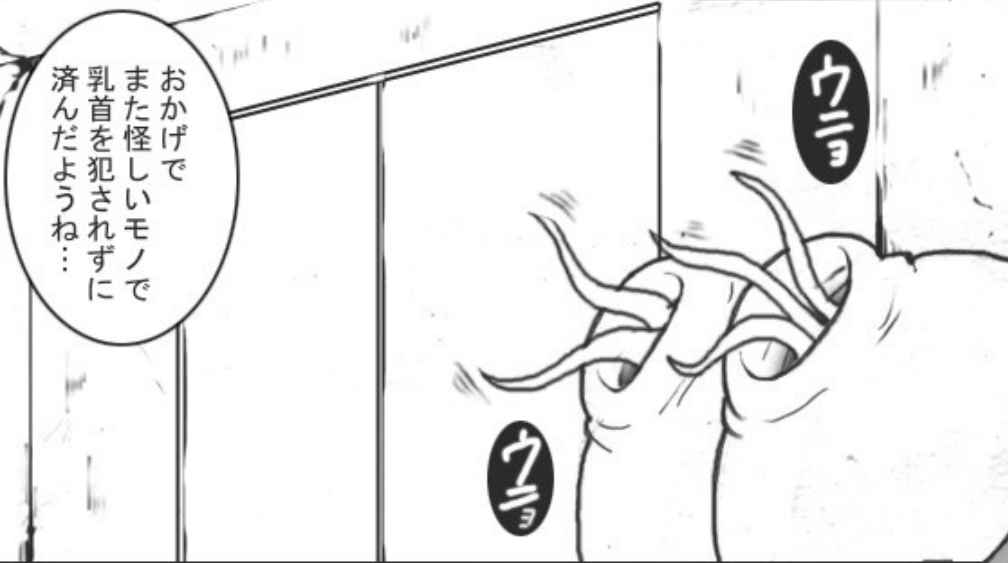




ミケー！
なんか広い空間に
繋がったよー！



はえ〜：
チサトのフィジカルと
その手甲が合さった時の
攻撃力は何度も見たけど



おかげで
また怪しいモノで
乳首を犯されずに
済んだようね！



こんな分厚い壁でも
穴開けちゃうのは
流石に驚いたわ！



任せて！
この爆閃甲があれば
こんな壁全部ぶっ壊して
出口まで一直線だから！

爆閃甲：
チサト専用の攻専手甲
これを装備して殴るなど衝撃を与えると
その衝撃の大きさに比例して
爆発的な衝撃波を発生させる

ってか道中でアンタの鞆を見つけたのはいいけどその手甲以外無かったみたいだけど他にはなんか入ってなかったの？

いやー…後は食べ物詰め込んでただけこのダンジョンを徘徊してるモンスターに食べられちゃったのかなあ…

食料以外にも冒険に役立つ物を入れときなさいよ！

ったく…私の鞆も一緒に見つかったらば…それに最初からそれ装備してればこのダンジョンからもっと早く脱出できてたでしょう！

それ言ったらミケだってあの枝だけじゃなくて炎の羽出せるマジックアイテムとか最初から使ってたらば…

あれは消耗品だし高価だからあんまり乱用したくないの…ん？

水滴の音？

トチ

〇

トチ



なにこれ...?
泉...?



こんな
ダンジョン内に?

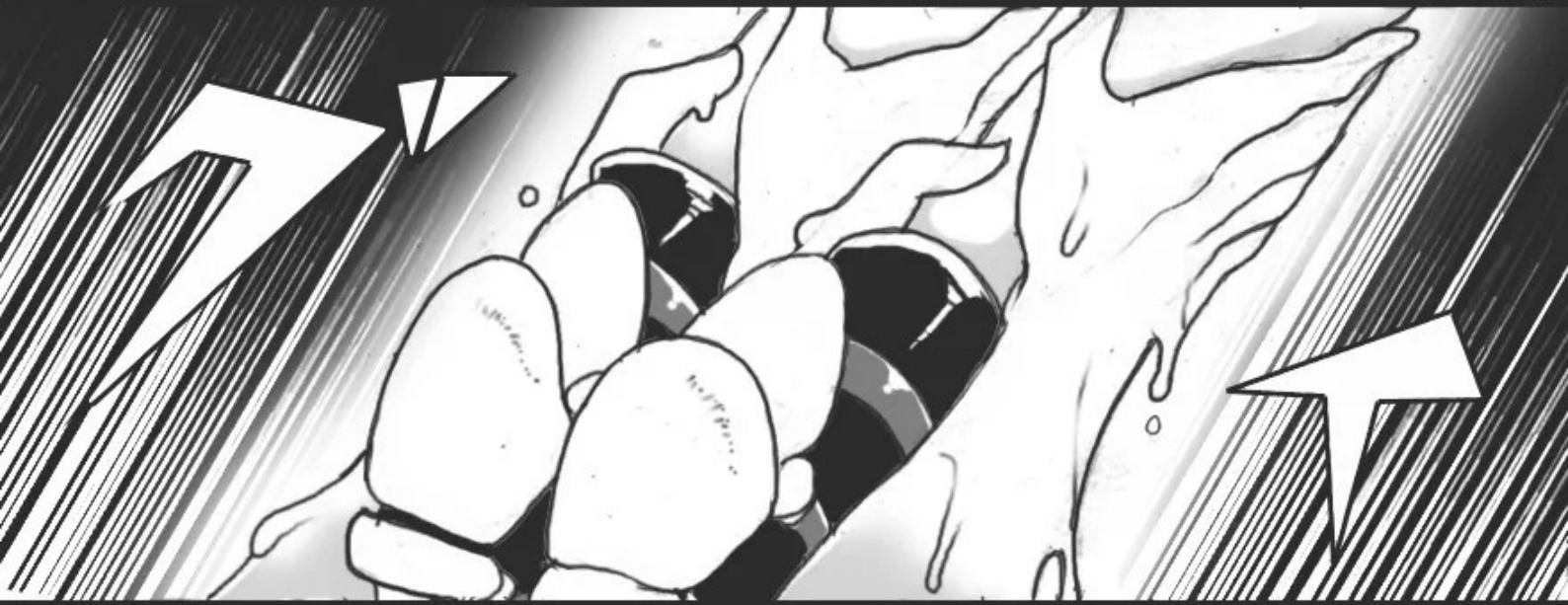


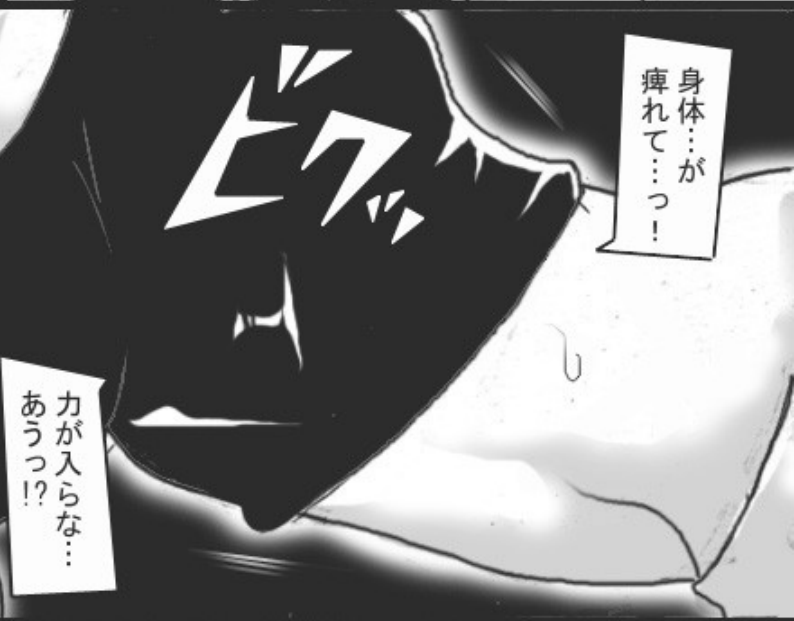
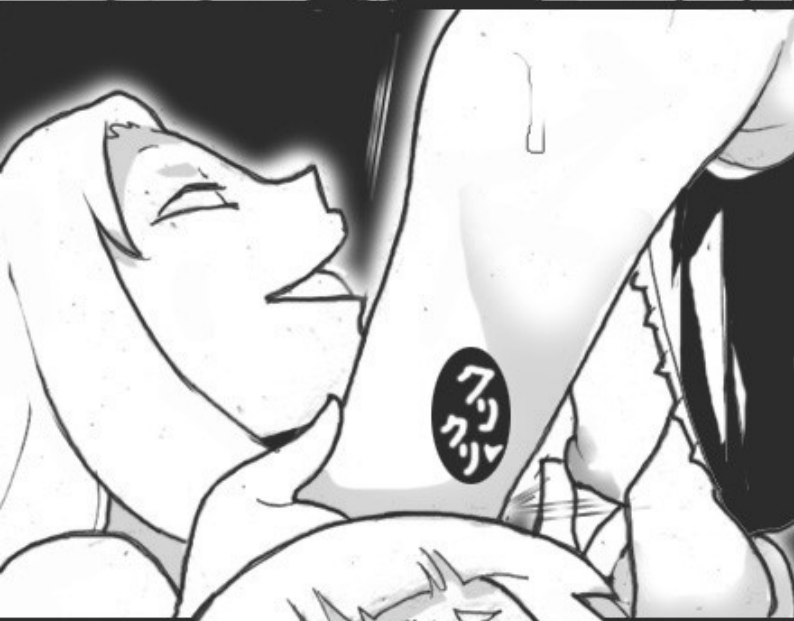
助かった、
ここに閉じ込められてから、
禄に飲食してなかったから、
喉カラカラだったんだよね



ミケ見て！
透き通ってて
綺麗な水だよ！







やめ…っ
て…え！

あ…!!

ク
ッ

ク
ッ

ク
ッ

ク
ッ

ひ
あ

キ
ッ

キ
ッ

キ
ッ

キ
ッ

だ…ダメ！
乳首そんな
激しく揉まれたら…
ああ！



ふん

あ

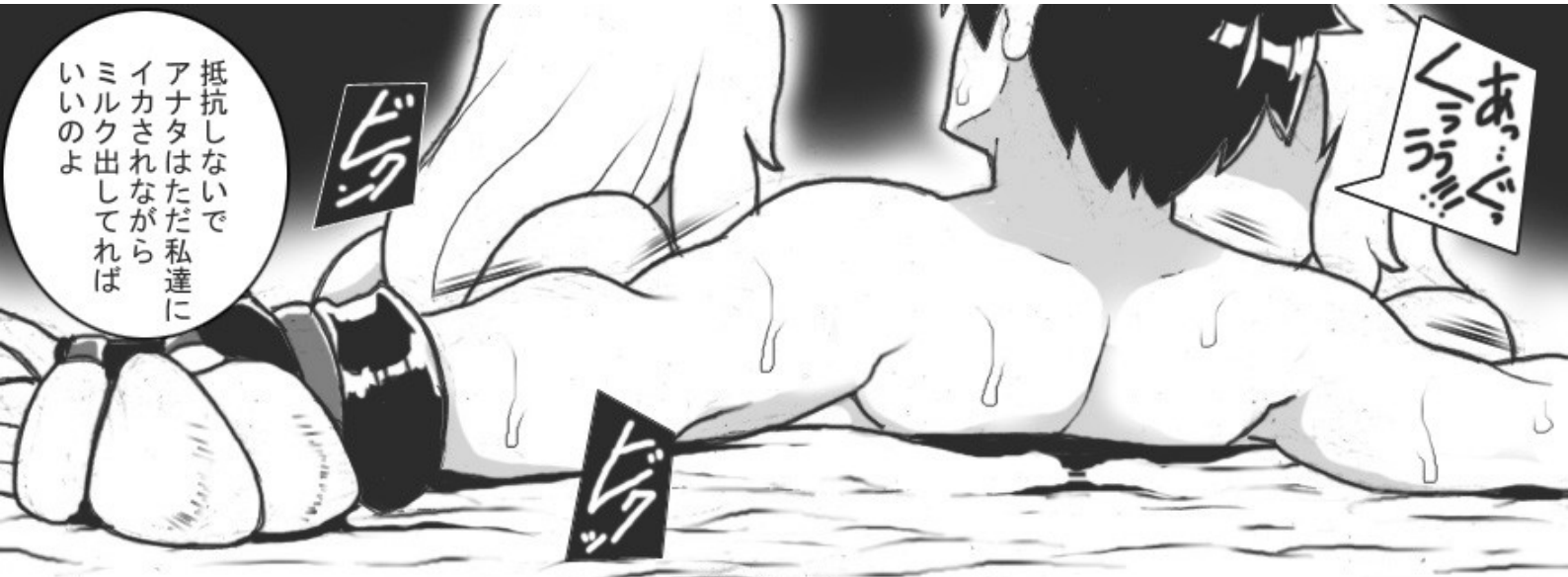
ギョウ

はああ

し

し

ウフッ
小っちゃいおっぱいなのに
凄い量…いっぱい弄られたのね



抵抗しないで
アナタはただ私達に
イカされながら
ミルク出してれば
いいのよ

ドク

くわっくわっ

ドク



ひっあ

あ

あ

ググッ

おっす

ズ

ズ

どう？
気持ち良い部分
同時にグリグリされるの
たまらないでしょう？

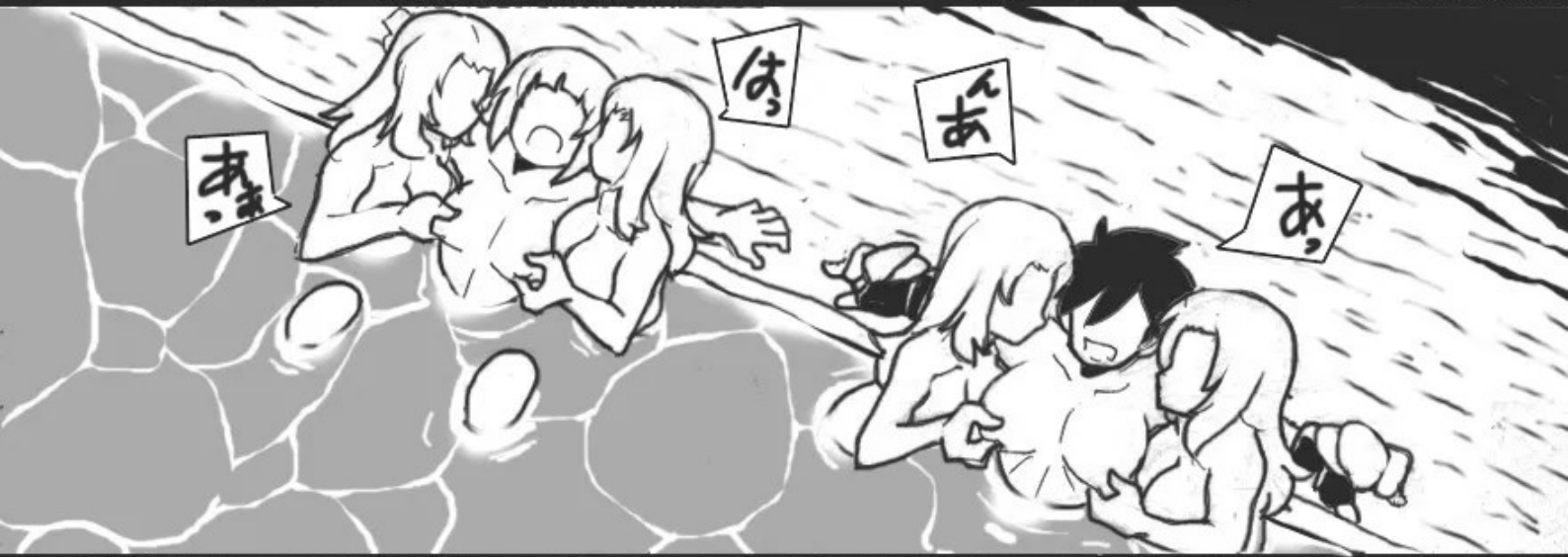


こ…このままじゃ
くたばるまで私達
コイツらに搾られ
続ける事に…っ！

あ、

あ、





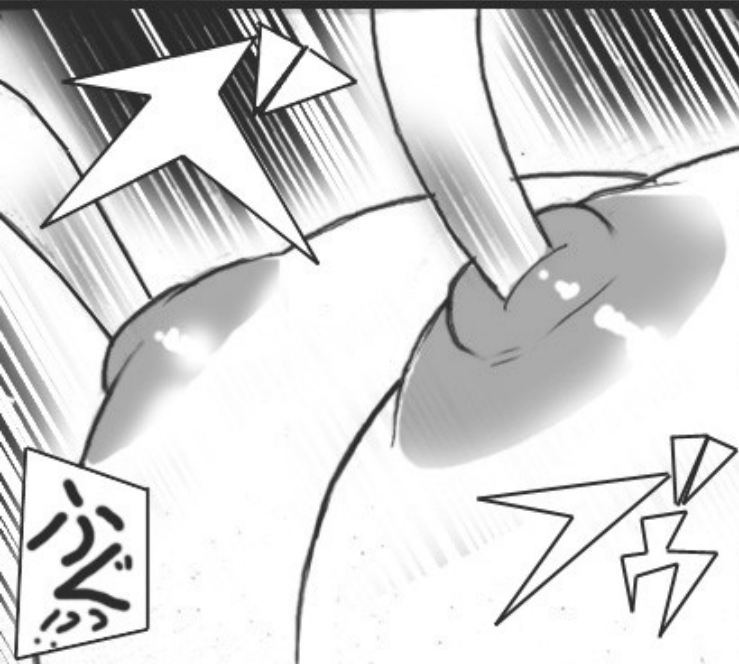


そろそろ「穴」を
広げちゃおっか♪

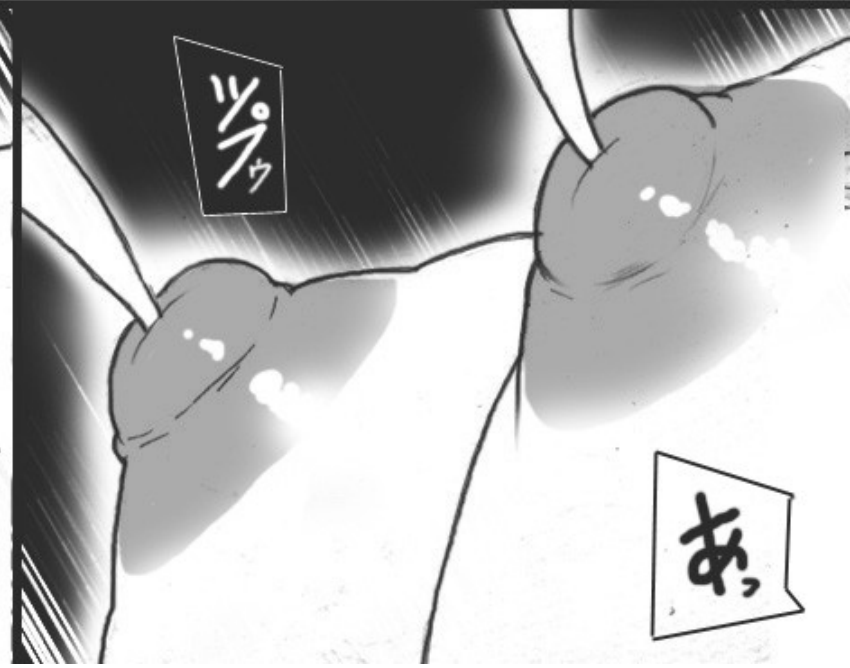


これやると人間は
凄い良い反応するから
面白いの♪

あ…
穴を広げ…!?



はっ



ツン

あ

あっ…あっ！
ち…乳首の奥
コリコリ
されて…っ！

?!?

ひぎん
!?

ギョ
ルル
ル

ギョ
ルル
ッ



ここに来るまでに
いっぱい乳首
穿られたのね
もう結構「穴」が
広くなってる♪

はっ
はっ

ゴ
ゴ

ああ…っ
乳首が…あ

グリグリされるの
気持ち良いんでしょう？
反応見ればわかるわ

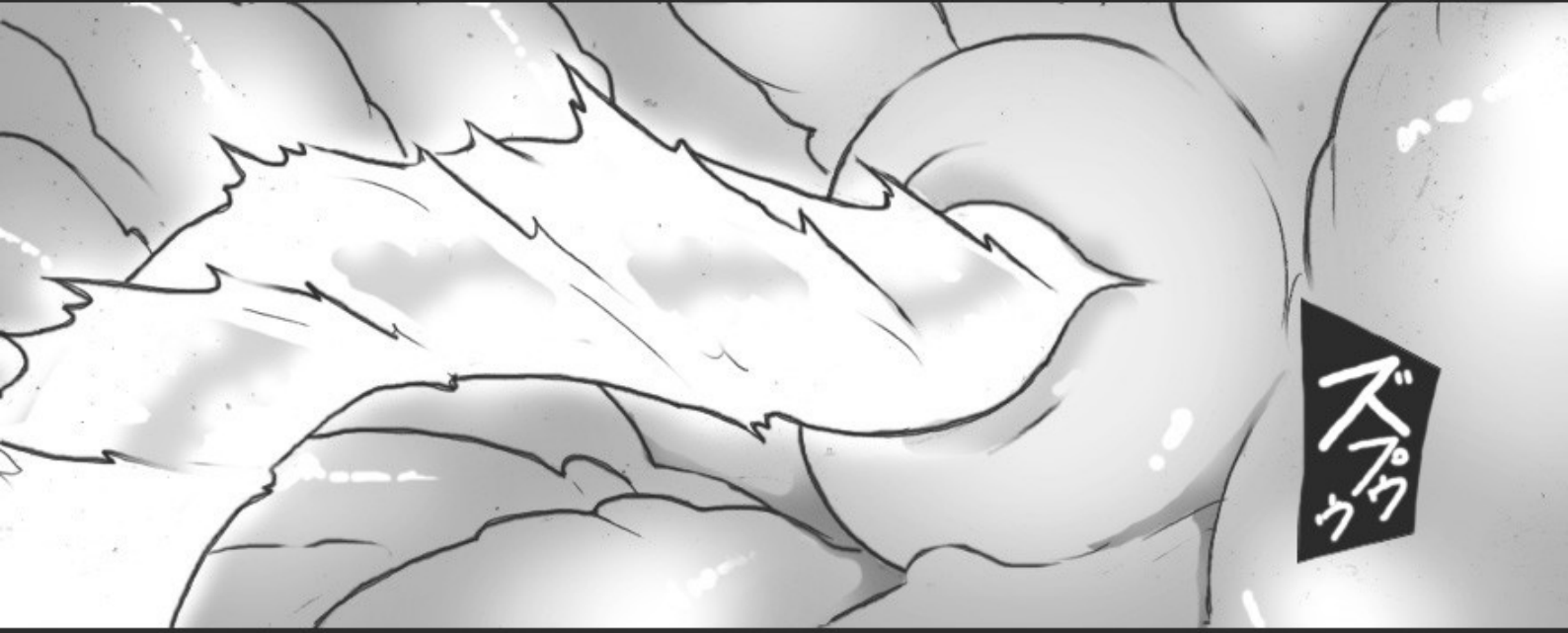
ひ
や

ギ
ュ
ル
ル

ギ
ュ
ル
ル

ホラもっともっと
イってる所を
私達に見せて♪

ひ
び
く





はぁおまおま!!!

ズッ

アハハ出た出た
さっきまでより
比べ物にならない
量が噴き出てる♪



くぼ

ホラ見て：
乳首の穴こんなに
広がるようになって
マンコみたいでしょ？

クニ

クニ

クニ

ここを穿られると
人間は延々に
ミルクを噴きながら
イキ続けるの
…あなた達にも
たっぷり味あわせて
あげるわ♪



アハハ♪さっきから
ずっと絶頂しながら
射乳しっぱなしね



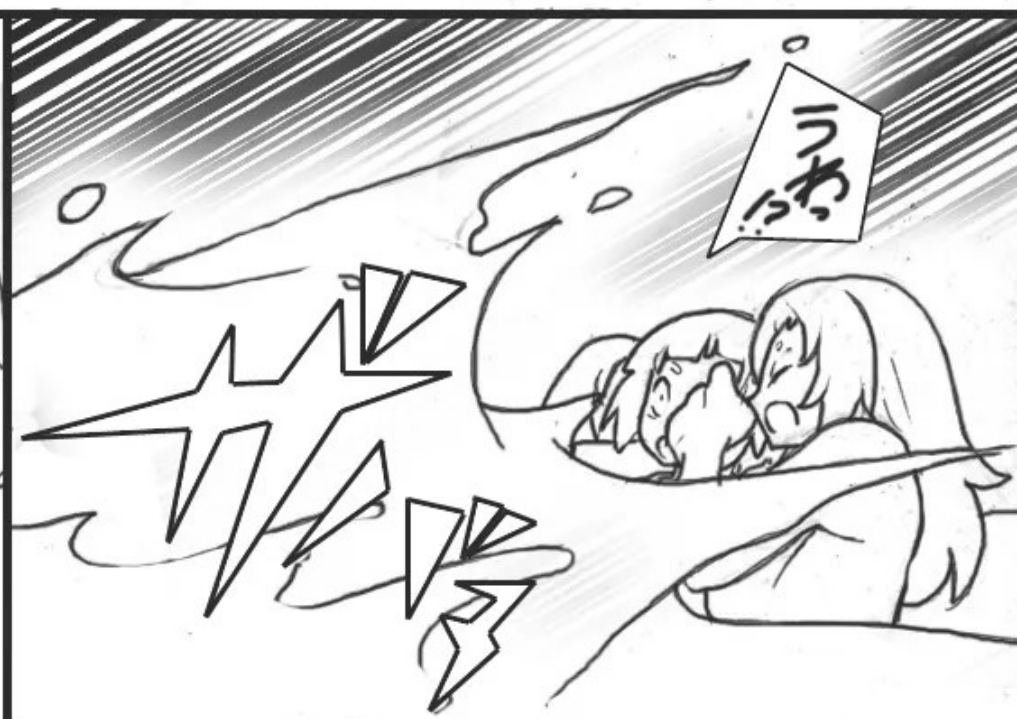
ガラッ

ガラ



枯れ果てるまでに
どれくらい
搾れるかなあ♪

おっ



落石の衝撃で発生した水しぶきで麻痺の霧が飛散して効果を弱らせた!?



や...
和らいでるんだけど
まだ腕しか
碌に動かさなくて...



チサト!
アンタも麻痺の効果
和らいでるんじゃない?
今ならアンタの手甲で
コイツら倒せるんじゃない?



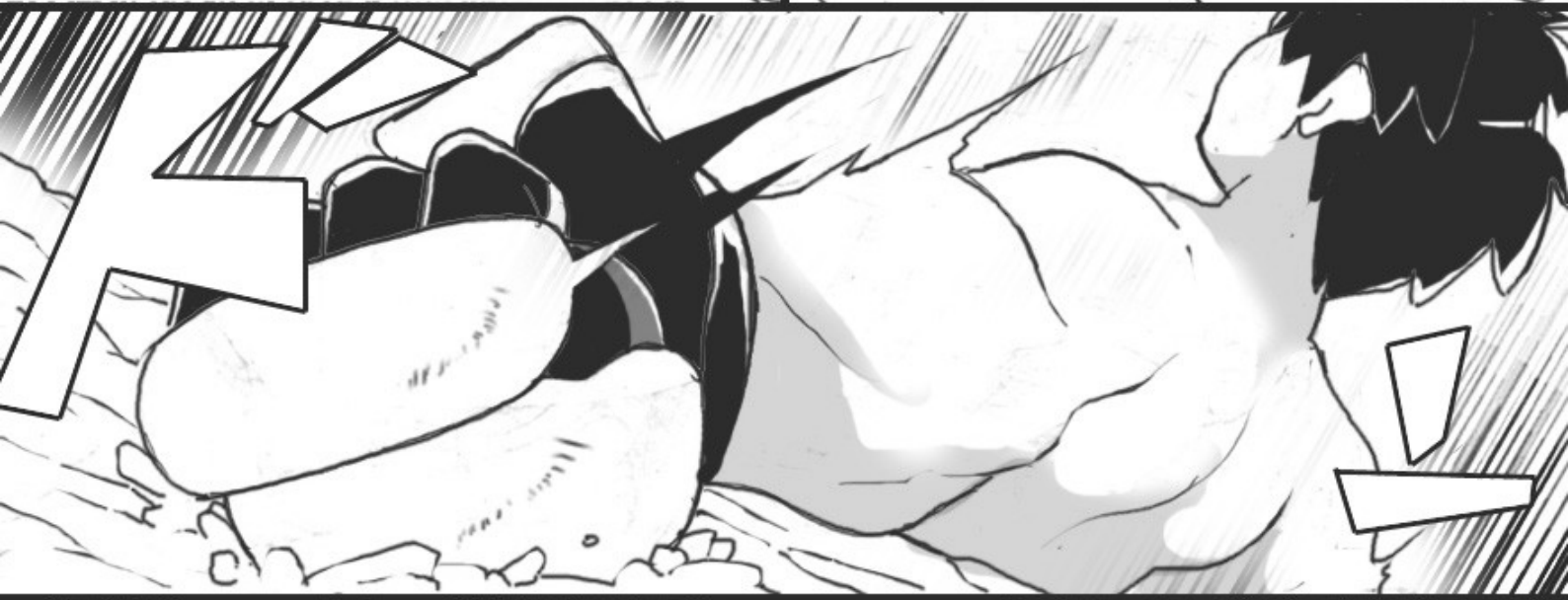
へ?

...だけど
なんとかはする!



そんな...!!
このままじゃ
すぐ体がまた
動かさなく...っ

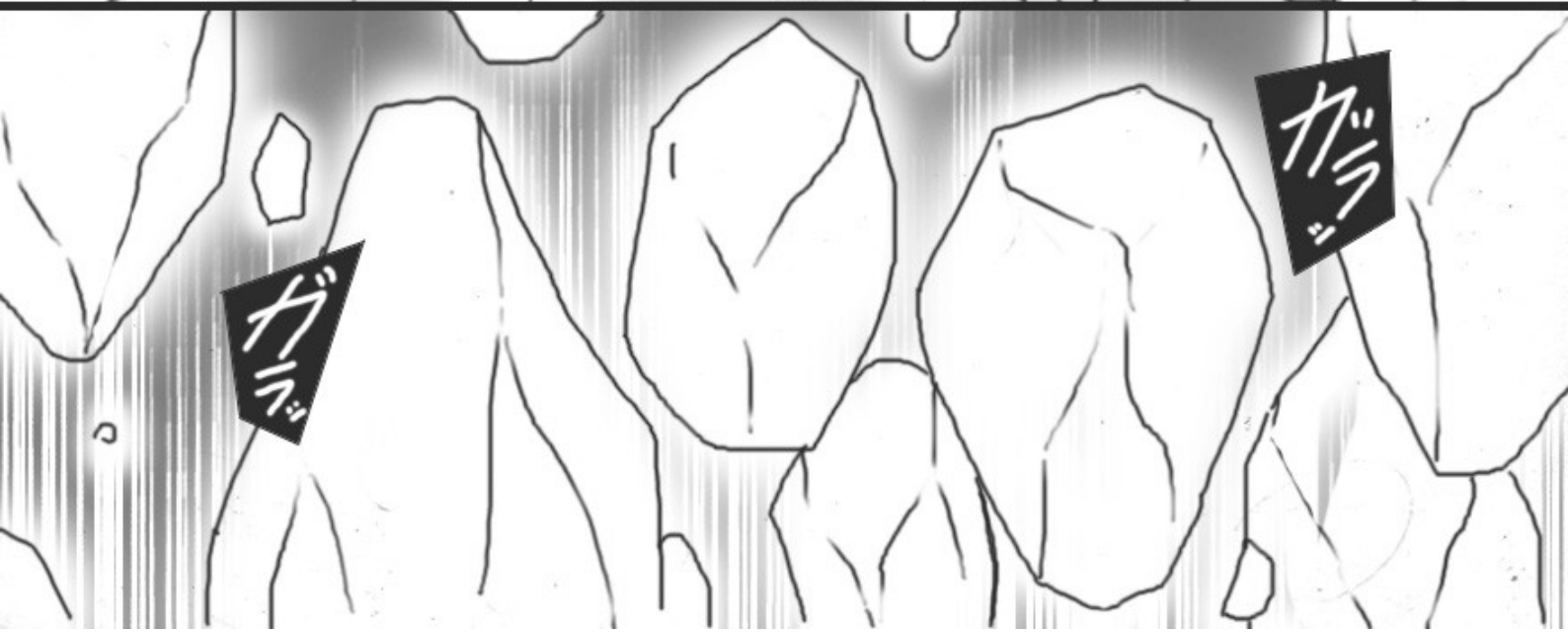
この状態じゃ
コイツらを倒す事は
無理...



はんぬ!!!

ガガガ

ガガ







「...この痴漢
凄じ...」

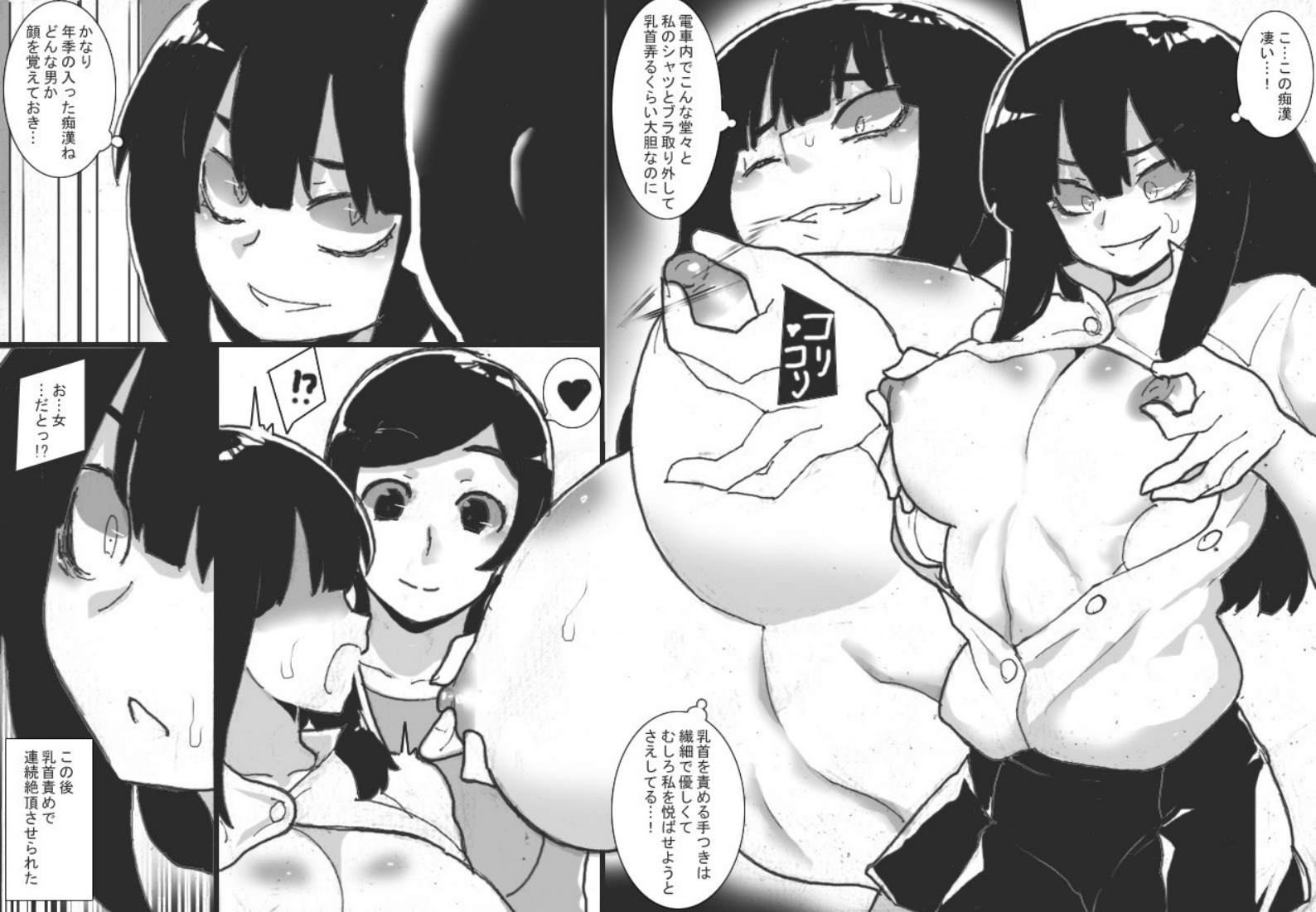
電車内でこんな堂々と
私のシャツとブラ取り外して
乳首弄るくらい大胆なのに

かなり
年季の入った痴漢ね
どんな男か
顔を覚えておき...

乳首を責める手つきは
繊細で優しく
むしろ私を悦ばせようと
さえしてる...!!

お...女
...だっ!?

この後
乳首責めで
連続絶頂させられた



す…凄い…！
私の感じるツボを的確に
揉みしだいてる…気がする



アレだ！
あの…リンパを流してる！
的な…だっけ？

とにかく！
このまま乳首
摘ままれたりしたら…
私どうなっちゃうの…？



変な声出さないでよ！
他のお客さんに
勘違いされるでしょ！

親戚の
エステティシャンのお姉さん



あの顧問には
よくない噂があって
目を付けた女子生徒の
弱みを握って
無理矢理体を...

そんなある日...
俺はアイツと
アイツが所属してる
バスケット部の顧問が部室で
ヤってる場面を目撃してしまっただ...

もしかしてアイツも
弱みを握られて無理矢理!?!
...って考えたけど
それ以上にアイツが
あんな表情して喘いでるのが
現実味がなくて...
ただその場に立ち尽くしていた...

小三の頃までよく遊んでいた
同い年の幼馴染のアイツ...
本当はあの頃からずっと
好きだったけど
俺は結局告る事なく
今年で高校三年になっていた





